

都市地理 G の研究計画

地球研 地下P

グループリーダー会議

2007.1.31

0 - 0 . 気候Gとの合流計画

- ・合流メンバー(敬称略)

 - ーノ瀬俊明(国立環境研究所主任研究員)

 - 片岡久美(国立環境研究所アシスタントフェロー)

 - 白 迎玖(東北公益文科大学助手)

- ・研究の内容

 - 都市の発展と気候環境の変化に関する研究

- ・研究の交流

 - 都市の発展などの資料・文献などの共同収集・利用、地図・空中写真・衛星画像などの共同収集・利用、水文環境と気候環境の関連性に関する研究など

- ・研究のスタイル

 - 研究に関しては、個別のスタイルをとるが、グループの会合・連絡などについては、都市地理Gと一致させる。

- ・グループの名称

 - 都市地理グループないしは都市空間環境グループでも可か。

0 - 1 . 都市地理 G の構成

吉越昭久 (立命館大学文学部教授)

安達 一 (国際協力機構 調査役)

谷口智雅 (立正大学地球環境学部・非)

香川雄一 (滋賀県立大学環境科学部講師)

加藤政洋 (立命館大学文学部助教授)

山下亜紀郎 (酪農学園大学環境システム学部講師)

戸所泰子 (立命館大学大学院文学研究科院生)

一ノ瀬俊明 (国立環境研究所主任研究員)

片岡久美 (国立環境研究所アシスタントフェロー)

白 迎玖 (東北公益文科大学助手)

+ 宗教学関係の研究者

0 - 2 . 宗教学関係の候補者

- 松井圭介(筑波大学講師) 宗教空間
 - 東 賢太郎(宮崎公立大学講師) フィリピンの呪術、民間医療
 - 中野麻衣子(桜美林大学・非) インドネシア
 - 浅川泰宏(駒澤大学・非) 四国巡礼
-

1. H19年度研究計画

- ・調査地 東京(全メンバー、随時)
大阪(全メンバー、随時)
台北(谷口・香川・加藤・山下・一ノ瀬、3月)
(吉越、別途予算10月、12月)
ソウル(谷口・香川・加藤・山下・一ノ瀬、8月)
(吉越、別途予算10月、11月)
マニラ(吉越、別途予算11月、2月)
バンコク(吉越、別途予算、12月、2月)
ジャカルタ(吉越、別途予算、1月、3月)
 - ・調査内容 地図・資料の収集
現地の水文環境フィールド調査
-

3 . 中間評価までの目標

- 対象都市の地図などの収集を完了させる。
 - 対象都市の地理学的発展に関する文献の収集を完了させる。
 - 地図のデジタル化作業を可能な限り進める。
 - 都市の発展のパターンを把握する。
 - 都市の水域の作業を進める。
 - 都市の発展と水文環境の変化に関する理論の確立を模索する。(一定の方向性は出す)
 - 地下環境との関係を追求する。
-

4 . 中間評価以降の研究計画

- 都市の発展と水文環境の変化に関する理論化を確立させ、それに沿った実証研究を対象都市で進める。
 - 宗教と文化遺産、災害などとの関係を研究し、研究のスコープを広げることと、新たな研究の方向性を模索し、研究につなげる。
 - 地下環境・地表面上空との関係を追求する。
 - 積極的な研究の公開を進める。
-